

## 事業の背景・目的

本事業は、鴻巣市コウノトリ野生復帰センターを拠点に、絶滅危惧種であり国の特別天然記念物でもあるコウノトリの飼育・繁殖・放鳥を行なうことにより、コウノトリの野生復帰の取組み、とりわけ関東地域における野外個体群の復元への貢献を目指すものである。令和3年度は、市域全体をカバーした「生きもの等調査」を行い、第三者的立場から有識者の評価に基づき「鴻巣市コウノトリ生息域内保全実施計画（案）」を策定する。

## 事業の内容

### 事業① 生きもの等調査

「生きもの等調査」を実施し、コウノトリの採餌環境を把握すると同時に、コウノトリが生息できる自然環境づくりに向けた施策の成果・効果の検証を図った。水田や河川等の水辺環境を中心に、市内全域の10箇所程度を2か月に1度の頻度で、調査を行った。



### 事業② 保全計画策定事業

有識者による評価を踏まえ、コウノトリの生息環境の保全・創出のために必要となる課題の抽出、対応策を含む「鴻巣市コウノトリ生息域内保全実施計画（案）」を策定した。

## 得られた成果

- ・ 地元NPO団体の有志の生きもの等調査への参加や、スクミリンゴガイの防除のための勉強会に地域の農業グループが参加し、薬剤に頼らない防除方法について意見交換するなど、水辺環境の生物多様性に対する活動も行われた。
- ・ 本交付金事業終了後も、保全計画に基づいた環境改善の取組みや、効果検証も兼ねた生きもの等モニタリング調査については、市民グループ等の参加を得て、「地域活動」としての継続的に実施していく。
- ・ コウノトリの野生復帰に向けた取組の拠点施設となる「鴻巣市コウノトリ野生復帰センター」は、令和3年度、埼玉県内初の地域連携保全活動支援センターとして登録された。
- ・ 生物多様性地域連携促進法に基づく体制を構築することにより、市民、NPOや企業、農業者や商工業者、学校等を連携させ「多様な参加者による生物多様性の回復・保全活動」を継続していく。